

社会イノベーター公志園を見学して考える

開倫塾

塾長 林 明夫

1. おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。

栃木県、群馬県、茨城県、埼玉県で、この放送をお聞きの皆さんがたくさんいらっしゃると思います。この時期は、中学生・高校生は2学期の定期試験の真っ最中中です。11月の中旬から12月の初旬にかけて、2学期の定期試験が一斉に行われます。そこで今日は最初に、定期試験でよい成績を取るにはどうしたらよいかというお話を少しさせていただきます。

2. 学校の定期試験は範囲が決まっていますので、まずは自分の学校の試験の日程を調べていただきたいと思います。それがわかりましたら、科目ごとにどこが試験範囲になるのかを先生にお聞きし、それをノートにまとめておくとよいと思います。そして最後は、勉強するのみです。

ただ、試験の前日や前々日になって勉強し始めるという「にわか勉強」ではよい点数は取れません。できればテストの2週間前には1度勉強をし終える。そして、1週間前にもう1度勉強する。さらに、前日まで最後の追い込みをする。このように、全部で最低3回は勉強するとよいです。

3. 教科書を読んだり、参考書を読んだり、自分で作ったノートを勉強し直したりして、もしできれば6回ぐらい勉強すると、すべての科目で100点満点が取れます。試験の前日になって、明日はこの科目のテストがあるからといって、教科書を読んだり参考書を読んだりノートに目を通したりしても、少しはわかるかもしれませんが、スミからスミまですべてを覚え切ることはできません。

4. 定期試験は、学習したことをスミからスミまで「理解」し、スミからスミまできちんと覚え切ると100点が取れます。難しいことは出ません。スミからスミまで「理解」し、スミからスミまで一言一句覚え切らないとよい点数が取れない、これが定期試験です。

ですから、試験の前日にやるのではなく、3週間ぐらい前に1度勉強をし終えて、1週間前、直前と最低3回は勉強する。できれば6回ぐらい勉強する。教科書、問題集、ノートをスミからスミまで勉強すると、すべての科目で100点が取れます。スミからスミまで勉強するというのが、定期テストで100点を取る方法です。勉強をしたかしないかで点数が決まります。頭が良い悪いは関係ありません。ぜひ挑戦していただければと思います。

5. この「開倫塾の時間」は、林明夫の歩きながら考えるという番組で、私もあちこちへ出かけています。11月3日には、早稲田大学の大隈記念講堂で「社会イノベーター公志園」というものがあり、私も見学させていただきました。後半は、そのことについて少しお話しします。

6. これは、社会的な課題を解決することを目指すイノベーターが集まって開いた公志園です。公志園という字は、野球の甲子園球場とは違って、「こう」はおおやけという「公」、「し」はこころざし「志」という漢字で表します。社会を変革、イノベーションする人たちが集まり、皆で励ましあって運動を広げていこうというものです。これを社会イノベーター公志園といいます。

5年ぐらい前から開かれていて、今回は4回目です。1回目は2011年に一橋記念講堂で行われ、2回目は2012年7月21日に気仙沼で結晶大会が行われました。この結晶大会の結晶という字は、「けつ」は「結(ぶ)」、「しょう」は日を3つ書く「晶」と書きます。3回目は2014年3月8日に立教大学で行われました。今回は4回目の結晶大会で、私も見学をさせていただきました。

7. この大会の目的は、人材の育成や教育開発、社会変革などです。全部で17名の方が出場され、一人ひとりが自分の志を発表してくださいました。

どんな方がいらっしゃったか、参加された方を紹介させていただきます。「聴覚バリアフリーで高齢者や障害者の社会参加を実現しよう」、「笑顔と太陽の畑で地域と野菜でつながって、誰もが暮らしやすい社会を目指そう」、「路上生活から脱出を叶える多種多様な選択肢を提供しよう、あそこに行けば何とかかなるという安心感を提供しよう」、「場所遊びを通じて、街づくりの主体者ネットワークを北海道の十勝から日本へ広げよう」、「農業を通じて新たな結びを広げ日本を豊かにしたい」、「癌になってもその人らしく暮らせる、伴走できる地域を作りたい」、「地域住民の方々と行政がともに考え、ともに作るための環境づくりをしたい」、「半径2キロメートル圏内の生ごみの循環で元気な地域コミュニティを実現したい」、「地域資源を世界の舞台でデビューさせ、生き生きした地方を作りたい」、「アジアや日本の子供たちのために学校を建設しよう」、「再生可能なエネルギーを活用して、住民主権の地域経済社会のモデルを作りたい」、「先人の知恵から学んで、今を生きる私たちの感性を新しい暮らし方に活かしたい」、「持続できるトイレの仕組みを作る」などです。

以上のような志の高い方が集まって大会を開きました。とても素晴らしい大会でしたので、社会イノベーターの志の高い方々の勉強を、もっともっとしたいと感じました。

今日は、早稲田大学で行われた「社会イノベーター公志園」のお話をさせていただきました。